

(地Ⅲ117F)

平成26年8月29日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

小 森 貴

デング熱の国内感染症例について（第二報）

「デング熱の国内感染症例について（第一報）」は、平成26年8月27日付（地Ⅲ113）をもって貴会宛お送りいたしました。

その後の疫学調査の結果、新たに当該患者の関係者2名（海外渡航歴なし）のデング熱患者が確認され、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）宛別添の事務連絡がなされましたので情報提供いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会、関係医療機関等に対する情報提供について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

事務連絡
平成 26 年 8 月 28 日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

デング熱の国内感染症例について（第二報）

日頃から感染症対策への御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成 26 年 8 月 27 日付け結核感染症課長通知（健感発 0827 第 1 号）において、国内でデング熱に感染したことが確認された患者について情報提供したところです。その後の疫学調査の結果、当該患者の関係者の中で、新たに 2 名（海外渡航歴無し）のデング熱患者が確認されました。本件について、東京都及び埼玉県から、別添 1 及び 2 のとおり公表がなされましたので、情報提供します。また、これまでに明らかとなった疫学情報は別添 3 のとおりです。

つきましては、本事例について、貴管内医療機関等の関係者への情報提供をお願いします。

参考資料

別添 1：東京都記者発表資料（平成26年 8 月 28 日）

別添 2：埼玉県記者発表資料（平成26年 8 月 28 日）

別添 3：デング熱国内感染事例 現時点での疫学情報のまとめ（平成26年 8 月 28 日
国立感染症研究所）

ホームページ

厚生労働省 デング熱について

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

国立感染症研究所 デング熱とは

(<http://www.niid.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>)

平成26年8月28日
福祉保健局
建設局

デング熱の国内感染症例について

平成26年8月28日、新宿区内の医療機関から海外渡航歴がないデング熱患者の届出が新宿区保健所に提出されました。患者は、8月27日に厚生労働省から報告のあった埼玉県在住のデング熱患者と同じ学校の学生です。

患者の概要及び東京都の対応等について、以下のとおりお知らせします。

1 患者について

(1) 概要

- ・患者は東京都在住20代男性。東京都内の学校に在学中。
- ・海外渡航歴無し。
- ・8月24日発熱、頭痛などの症状があり、8月25日医療機関受診。
- ・8月27日38度の発熱があり、新宿区内の医療機関を受診。同日入院。同日患者の血液検体を国立感染症研究所に搬入し、デング熱について検査を実施したところ、デング熱の患者であることが本日確認されました。

(2) 推定感染地域

関係者調査の結果、本件患者が発症前に都立代々木公園において蚊に刺されたこと、及び埼玉県在住の患者も同じ場所において蚊に刺されたことが確認されています。

デング熱の国内感染は極めてまれなことから、都立代々木公園でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われます。

なお、都が緊急に都立代々木公園において採集した蚊からは、デングウイルスを保有する蚊は発見されていません。

2 都の対応について

(1) 関係者調査

都立代々木公園で一緒に活動をしていた同じ学校の学生について、学校及び保健所と連携して、健康調査を実施しています。

なお、夏季休業中のため、登校はしていません。

(2) 都立代々木公園の蚊の駆除

推定感染地域が都立代々木公園であることから、念のため、患者が蚊に刺された地域（渋谷門付近）を中心に蚊の駆除を行います。

(3) 相談先

ア デング熱に関すること

デング熱に関することや蚊の駆除等に関することは、最寄りの保健所に御相談ください。

(保健所の連絡先は、東京都ホームページ (<http://www.metro.tokyo.jp/>) の検索窓に「保健所」と入力してクリックしてください。)

なお、本日から9月5日(金)まで専用相談電話を都庁内に設置します。

電話番号：03-5320-4179

対応時間：平日午前9時から午後7時まで

イ 都立代々木公園に関すること

都立代々木公園の利用等に関することは、建設局公園緑地部公園課(電話番号03-5320-5436)までお問い合わせください。

(4) 蚊の病原体保有調査

都は、平成16年度から、都内16か所で蚊を採集し、デング熱などの感染症の原因となる病原体の保有状況調査を行っていますが、これまで、病原体が発見された例はありません。

今後、調査ポイントを増やし、監視を強化していきます。

デング熱は、ヒトからヒトではなく、患者から血を吸った蚊が媒介して、他の人に感染が広がる疾患であり、今後、都内で感染が拡大する可能性は極めて低いと考えます。

また、感染した場合も、一般に一週間前後で回復すると言われておりますので、過度な心配は必要ありません。

なお、蚊に刺されて発熱等の症状がある場合は、かかりつけの医療機関などを受診してください。

【問い合わせ先】

(患者発生状況に関すること)

福祉保健局健康安全部感染症対策課 渡瀬・安間

電話 03-5320-4480・4482

内線 34-310・322

(一般的な蚊の対策に関すること)

福祉保健局健康安全部環境保健衛生課 齊藤・高貝

電話 03-5320-4390・4391

内線 34-210・223

(都立代々木公園の蚊の駆除に関すること)

建設局公園緑地部公園課 城田・亀井

電話 03-5320-5375・5377

内線 41-260・265

＜報道発表資料＞

平成26年8月28日

デング熱国内感染症例の発生について

1 概要

今般、デング熱への罹患が疑われる埼玉県内の医療機関に入院中の患者（20歳代、女性）について、国立感染症研究所において確認検査を実施したところ、デング熱の患者であることが新たに確認されました。

当該患者は、27日に厚生労働省が公表したさいたま市内の医療機関に入院中のデング熱患者と同じ学校（東京都内）に通っています。

当該患者も海外渡航歴がなく、国内でデング熱に感染したと考えられます。

2 患者について

- (1) 年齢等 埼玉県在住、20歳代、女性
- (2) 海外渡航歴 なし
- (3) 発症・受診 8月18日発病、8月21日医療機関受診、8月25日県内の医療機関に入院
- (4) 症状 発熱、倦怠感
現在快方に向かっている。
- (5) 検査・診断 8月28日に国立感染症研究所で確認検査を行ったところ、デング熱陽性の結果が得られた。
- (6) 蚊の刺咬歴 8月上旬～中旬、都立代々木公園

3 関連情報

(1) 東京都における患者発生

本日、東京都内在住（20代男性で同じ学校に通う方）のデング熱の国内感染症例が確認されました。

(2) 推定感染地域

関係者の調査の結果、都立代々木公園でデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われています。

なお、都立代々木公園において緊急に採取した蚊からは、デングウイルスは発見されていません。

(3) 東京都の対応（概要）

念のため、都立代々木公園で患者が蚊に刺された地域（渋谷門付近）を中心に蚊の駆除を行います。

4 デング熱とは

(1) 概 要

- ・ 蚊が媒介するウイルスによる疾患で、アジア、中南米、アフリカ等の世界の広範な地域で流行しています。
- ・ ヒトが感染しても、発症する頻度は10%から50%で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等が症状として現れます。
- ・ 予後は比較的良好な感染症です。
- ・ ヒト（患者）— 蚊 —ヒト という経路で蚊を媒介して感染しますので、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

(2) 症 状

- ・ 突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。
- ・ 潜伏期間は2日から15日と言われており、多くは3日から7日で発症します。（潜伏期：ウイルスを持つ蚊に刺されてから、症状が出るまでの期間）
- ・ まれに重症化して、出血やショック症状を発症するデング出血熱や、デング症候群に移行することがあります。

(3) 治療法

- ・ 特異的な治療法はなく、対症療法が主体となります。
- ・ 現在のところ、有効な抗ウイルス薬はありません。

(4) 予防法

- ・ 国内では、ヒトスジシマカ（主に日中で屋外で吸血する）がデング熱を媒介する可能性があります。
- ・ 蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。
- ・ 具体的には、次のことが挙げられます。

- ① 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出をなるべく避ける
- ② 虫よけ剤等を使用し、蚊を寄せ付けないようにする
- ③ 室内の蚊の駆除を心掛ける
- ④ 蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する

（蚊は、水辺に産卵します。下水溝、廃タイヤの中や水桶等の人工的な環境下においても産卵し、増殖します。）

<参 考>

○ デング熱の県内発生状況（さいたま市、川越市を含む）

平成 22 年 5 人

平成 23 年 4 人

平成 24 年 5 人

平成 25 年 7 人

平成 26 年 5 人（平成 26 年 8 月 28 日現在）

※今回の国内感染症例 2 例（さいたま市を含む）以外は、全て海外での感染事例である。

○ 関連リンク

[厚生労働省プレスリリース「デング熱の国内感染症例について（第 1 報）」（平成 26 年 8 月 27 日付け）](#)

厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所 デング熱とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>

デング熱国内感染事例 現時点での疫学情報のまとめ

平成26年8月28日
国立感染症研究所
感染症疫学センター

症例番号	年齢性別	居住地	医療機関所在地	発症日	代々木公園	代々木公園での蚊の刺咬
1	10代女性	埼玉県	さいたま市内	8/20	行った (8/11, 8/14, 8/18)	あり
2	20代男性	東京都	東京都新宿区内	8/24	行った (日は未確定)	あり
3	20代女性	埼玉県	埼玉県内	8/18	行った (日は未確定)	あり

- 3名とも東京都内の同じ学校に通っている。
- 3名から検出されたウイルス型は同じ（デング I 型）。
- 3名の行動歴の詳細情報は引き続き収集中であるが、現時点では、3症例の推定感染地域は、代々木公園（渋谷門付近）である可能性が疑われている。